



ボーイスカウト枚方第2団

2013年6月号

< VOL 308 >

発行責任者 井上 清文

かがり火

◆ 歩く（ウォーキング） ◆

副団委員長 井上 治

ボーイスカウト運動の目的を、日本連盟教育規程の第1章に次のように書かれています。

「ボーイスカウト運動は、青少年がその自発活動により、自らの健康を築き、社会に奉仕できる能力と人生に役立つ技能を体得し、誠実、勇気、自身及び国際愛と人道主義を把握し、実践できるよう教育することを目的とする。」即ち、人格・健康・技能・奉仕が4本柱となっているのです。

今回は「健康」について少し述べます。私達枚方2団では、「しっかり歩く」というのが暗黙のスローガンになっています。故郷団委員が、カブスカウト隊の隊長であった時には「良く歩く隊長」と言うことで有名でした。

又昭和53年～55年、平成4年～8年まで「オーバーナイトハイク」といって、1月にJR安曇川駅を午後8時に出発し、翌朝6時頃に京都大原までの約50kmを、カブスカウト以上のスカウト、指導者、保護者、それに友団であるガールスカウト大阪71団のスカウトが参加し、多い時で90名近くが参加し、ほぼ完歩していました。その後このコースは交通量が増え、安全の問題から、平成11年～17年は京田辺～私市～枚方の約25kmのコースで行われていました。小さいときからしっかり歩くことが、健康づくりに大切だという枚方2団の伝統が歴代の隊長に引き継がれ、現在も続いています。今年の2月にはカブ隊の「ナイトハイク」、ボーイ隊の「オーバーナイトハイク」を実施しています。

私事で恐縮ですが、平成21年の4月に、今でも50kmを歩けるか試したくなり、自宅(光善寺)～高槻～大山崎～長岡京市～京都出町柳～丹波橋のコースで実施し、完歩することが出来ました。これについては平成21年の「かがり火」7月号「歩く(ウォーキング)」に詳しく書いています。尚、50kmの距離を測るのに、私は歩測(私の場合は100m136歩)を用いています。

この時の完歩に自信を持ち、22年4月には自宅～八幡～中書島～醍醐寺～山科～三条の50kmを完歩。23年4月は、自宅から大原三千院・寂光院の55km(この時は前日の23時に出発)を完歩。24年5月は嵐山まで歩き、途中トロッコ電車で亀岡まで往復し、その後京阪三条まで完歩。今年は5月5日、午前6時に自宅を出発、昨年通り高槻周りで嵐山まで行き、そこから北に進み、清滝ハイキングコースを歩き、梅ノ尾「高山寺」まで行き、右側に折れ山越えをして京都市内へ向かうべきところを、山道が少し下りになっている道をまっすぐ北に向かって歩き出しました。3km位まで行った時「周山」の看板を見つけ、あわてて地図を見ると、道を間違えているのに気付く「高山寺」まで引き返しました。時計を見ると17時を過ぎており、家を出て45kmの距離に来ていたのです。

そこで近くの人に、市内まで行くにはどうすればよいか聞くと京都行きのバスがもうすぐ来るというので、それに乗れば良いということでした。京都駅まで約15kmあり、歩くと3時間位かかるので、バスで千本丸太町まで乗り、約5km歩き、京阪三条に到着しました。時計を見ると19時を過ぎていました。そこから電車に乗り、無事帰宅しました。

その日はいたって元気だったのですが、翌日少し腰に張りを感じました。昨年も同じようでしたので、自分の年齢(72歳)を考え、5年間続けてきた「50kmハイキング」も来年からはどうしようか迷っているところです。

少年よ 小さくかたまるな

—— 冒険と夢 ——

サトウハチロー

森がある
高い木がある
のぼりたくなる

のびる手がある
動く足がある
使いたくなる

山がある
洞窟(ほらあな)がある
中にはいりたくなる

するどい目がある
敏感な耳がある
物を見きわめたくなる

地図がある
ひたいをよせて 指でたどる
仲間と歩きたくなる

冒険がある
夢がある
願いをかなえたい

これが少年の心なのだ
ものに向かって行く少年の心
その心こそ大切なのだ

少年よ
その中におもいきりひたり
その日その日の生活(くらし)に
すばらしい弾力をつける

みみずばれ キリキズ たんこぶ
赤いワスリ 白いホータイ
思いでの中にかびあがる たのしい色

少年よ
空気をかみながら
自分をためし 自分と戦え

特 集

「あすは君たちのもの」より

少年よ
小さくかたまるな
動きがとれなくなる

この作品はボーイスカウトの活動を見て作詞されたものです

団委員及び指導者への連絡

【 団 会 議 】

日時：6 月 16 日(土) 17:00～
場所：本部

【 団委員会 】

日時：6 月 27 日(土) 18:00～
場所：本部

新 知 故 温 続

大阪スカウトクラブ発行「スカウティングの原点を探るシリーズ」より転載

<スカウト運動とスピリット>

信 仕 愛 行 遊

古 田 誠 一 郎

一 仕 一

B-Pは「隊長の手引」の中で、スカウターは自分の心の中に少年の心を持たなければならぬ、その第1歩は彼らといっしょになることだ、といっている。

いっしょになるとはどんなことだろうか。

黒人の自由を護るために身を賭して奴隷の解放をなしとげた、アブラハム・リンカーンがまだ一介の青年弁護士だった頃、散歩の途中に1頭の豚が溝に落ちて苦しんでいるのを見て、あわれに思い、助けようとしたがなかなか上がらない。いろいろ工夫し、力の限りやってみたが、どうしても上げることができない。そのうち、ふと気がついて自分が豚の落ちている溝の底まで降りて、押し上げると今までの努力がまるで嘘のように難なく上がった。彼の日記には「ズボンはもとより上衣まで泥まみれになったが、これによって政治というものも、為政者が民衆と同じ立場に立ってこそ、と悟ることができた」と記されている。

ハワイに属する絶海の孤島モロカイは、ライ患者隔離の島として有名である。ベルギー生まれの、ファーザー・ダミアンは進んでこの島に渡り、600人のライ患者のために自ら看病し、彼らの住む小屋を建て、墓を造り、遂には自分もライ病に感染して、85年の生涯をその地において終わった聖者であるが、自分がライ病に感染したことを発見した時、彼

はニコニコしながら「昨日までは話しかける時、あなた方ライ者……といわねばならなかったが、今日からは、私たちライ者と言えることはありきたい」と、かつてなかったほど喜んだということである。

子どもを遊ばせるのではなく、子どもとともに遊び、ついには子どもに遊ばせられる境地にまで達したかの良寛和尚の如きは、もはや子どもの指導者ではなく子どもそのものであり、時には子どもへの仕え人であった。

詩聖ゲーテも「真の教養とは、再びとり返された、子どものような純真さだ」といっている。しかも子どもはその純真さの中に無限の可能性を包蔵しているのである。

指導者という文字は仕導者と書き替えたほうが、むしろ適当ではなからうか。

スカウトスピリットも、人への奉仕から出発すれば、案外早く発見できそうである。

ルックワイド (B-Pのことは)

- ・ 視野を広くもて。自分で視野を広く見ていると思っているときも、もつと広く見渡しなさい。
- ・ 私の目前にある山は、「もつと広く見よ、もつと高く見よ、もつと遠くを見よ、そうすれば道が見出せる」と、私に告げている

【6月各隊活動予定】

◇ ビーパー ◇

	6月9日(日)	6月23日(日)
タイトル	パデシエ	そなえよつねに
時 間	8:30～16:00	9:00～14:00
集 合	枚方市駅ケーブルテレビ後	枚方市駅ケーブルテレビ後
場 所	交野3団野営場	大阪市立阿倍野防災センター

◇ カブ ◇

『テーマ: 世界の料理知ってるかい』 [主な活動: デイキャンプ]

《 目標: 創造力を高める 》

	組 集 会	上進章キャンプ	隊 集 会
1 組	6月9日(日) 南部生涯学習センター 午前	6月22日(土)～23日(日) 交野3団野営場 詳細は別途	6月30日(日) デイキャンプ 交野3団野営場 8:30～16:00頃
2 組	6月9日(日) サンパサ'生涯学習センター 9:00～12:00		

※ リーダー会議 6月1日(土) 13:00～ 本部

◇ ボーイ ◇

テーマ: 「技能をみがけ!!」 活動内容: 野営技術

活動目的: 野営耕作・ラッシング

集会種別	班長会議	班集体会	地区技能大会	隊キャンプ
日 程	6月8日(土)	6月8日(土)	6月9日(日)	6月22日(土)～23日(日)
時 間	9:00～	13:00～	9:00～	
場 所	本部	本部	淀川河川敷	交野3団野営場
備 考	兼GB訓練	臨時技能訓練		兼CS上進キャンプ

※ 6月1日(土)～2日(日) 16NJ訓練キャンプ 11:00 河内森駅集合 キャンプおおさか

◇ ベンチャー

技 能 章 (6月)	※ 詳しくは隊長まで	6月12日(水)・26日(水)
2日 介護章(三島) 9:30	23日 木工章(北大阪) 9:30	ベンチャー集会
9日 救急章(泉州) 9:30	30日 自転車章(泉州) 9:00	19:30～
23日 茶道章(三島) 9:30		本部

奉仕: 9日(日) 地区BS技能大会 7:30～ 淀川河川敷 16日(日) キャンプおおさか整備